

平成29年度 調査船調査計画書

1 船 名 北光丸 (北海道区水産研究所)

2 総トン数・馬力数 902トン 4,000馬力

3 調 査 名 親潮広域調査・道東沖沿岸高密度調査・気候変動影響評価調査・道東沖漁場環境調査
(予定している予算科目名:農林水産技術会議プロ研「気候変動影響評価」、実施細目課題「1-2-ア」「1-2-イ」「2-1-ア」「3-1-ア」「3-1-イ」、水産庁委託「漁場形成・漁況予測事業」)

4 調 査 期 間 平成30年1月19日～平成30年1月30日(12日間)(航海数:1航海)

5 担当研究所等 北海道区水産研究所 生産環境部 生産変動グループ
責任担当者 : 黒田 寛
電 話 : 0154-92-1723

6 乗船調査員等

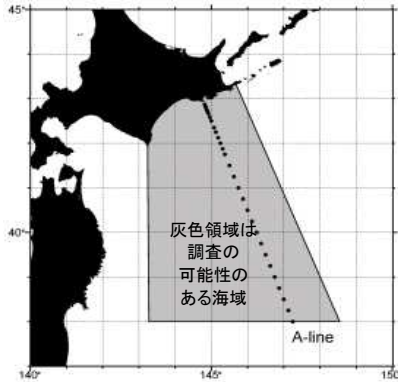
	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	黒田 寛	北水研((併)中央水研)	1月19日～1月30日
:	葛西広海	北水研	1月19日～1月30日
:	谷内由貴子	北水研	1月19日～1月30日
契約職員 :	未定		～

7 調 査 目 的 親潮域・混合域の海洋構造および低次生態系構造の変動を把握し、気候変動に対する漁業の影響評価を実施するため、A-lineにおけるモニタリングを行う。得られた水温塩分データは、速報値として、TESAC通報を通じてGTSPPIに配信する。さらに、海洋環境データは海洋モデルの出力を校正するために、また、海況予測システムFRA-ROMSを制御するために利用する。道東陸棚沿岸域などにおいて高解像度集中観測をおこない、当該海域における水塊構造、流動場、および生物環境を把握し、漁場形成・漁況予測事業における日本全域高解像度版FRA-ROMSのチューニングに利用する。

- 8 調 査 項 目
- ① 海 洋 観 測 : 表面水温、XCTD観測、CTD観測、濁度センサー観測、PRR観測、キャローセル採水(クロロフィル、栄養塩、植物プランクトン、微小動物プランクトン、溶存酸素、フローサイトメトリー)、ADCP観測、LADCP調査、OPCS観測
 - ③ フラントクソン調査 : プランクトン採集(NORPACネット、BONGOネット)
 - ⑨ そ の 他 調 査 : 動植物プランクトンの船上培養実験調査

9 調 査 海 域 道東沖沿岸域、親潮域、混合域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況			備考
		停泊	航海	調査 予備	
1月19日	釧路出港		1	8	3
1月30日	釧路入港				数日毎の寒気吹き出しで調査不可のため、安全を確保するには予備日が必要
	合計		1	8	3

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 72 KL